

EGOTERIC

D-07

取扱説明書




エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。



末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグ をコンセント から抜け	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (23ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (23ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

 警告		以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
 分解禁止	<p>この機器のキャビネットは絶対に外さない。</p> <p>キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(23ページに記載)にご依頼ください。</p>	
	<p>この機器を改造しない。</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>	
 強制	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。</p> <p>ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。</p> <p>内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>	

 注意		以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。</p> <p>また、接続は指定のコードを使用する。</p> <p>それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>	
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。</p> <p>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
	<p>この機器は9.5kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>	
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	

安全にお使いいただくために (続き)



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグ
をコンセントから抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(23ページ)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

目次

安全にお使いいただくために.....	2
お使いになる前に.....	5
接 続.....	6
各部の名称.....	8
基本操作.....	9
設定モード.....	10
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する.....	16
メッセージ一覧.....	18
困ったときは.....	18
工場出荷時の状態に戻すには.....	19
お手入れ.....	19
仕 様.....	20
保証とアフターサービス.....	21
リアパネル.....	22

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(23ページに記載)にご連絡ください。

電源コード×1
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

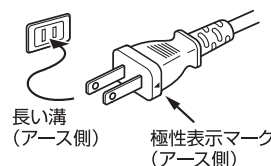
使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(▲)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



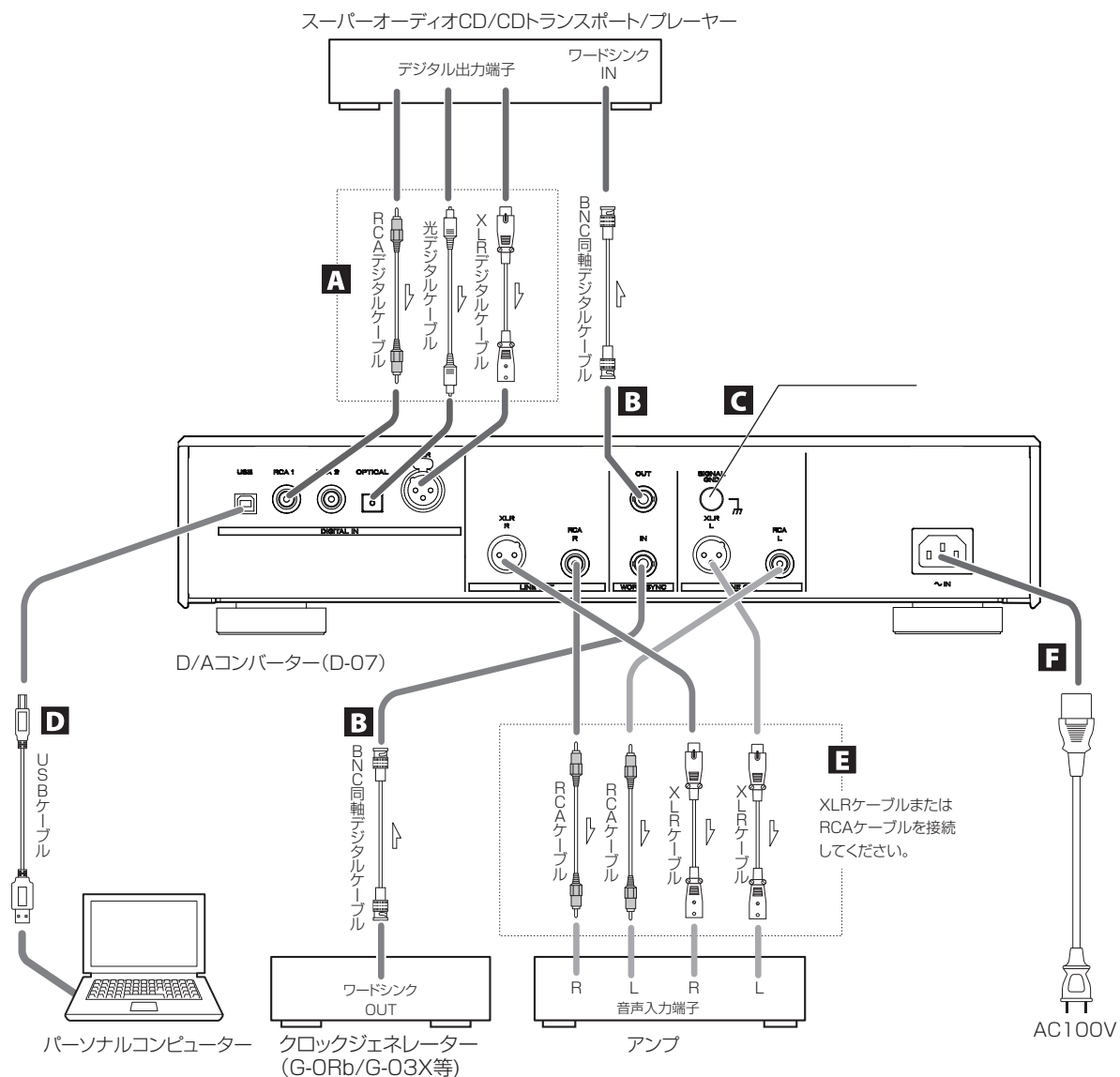
Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

“Super Audio CD” と “DSD” は登録商標です。

接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A デジタル音声入力端子 [DIGITAL IN]

デジタル音声を入力します。
デジタル機器(P-01/P-03/P-05など)のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLRデジタルケーブル

RCA : RCA同軸デジタルケーブル

OPTICAL : 光デジタルケーブル

B ワードシンク入出力端子 [WORD SYNC]

同期信号(ワード)を入力/出力します。

ワードシンク入力端子(WORD SYNC IN)は、クロックジェネレーター G-0Rb/G-03Xなど、ワードクロックを出力する機器のワードクロック出力端子と接続してください。

ワードシンク出力端子(WORD SYNC OUT)は、デジタル機器のWORD SYNC IN端子と接続してください。

接続には市販のBNC同軸デジタルケーブル(インピーダンスが75Ωのもの)をお使いください。

C アース端子[GND]

接続する機器(デジタル機器やアンプなど)とアース接続すると、音質が良くなる場合があります。

- 安全アースではありません。

D USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子と接続してください。

接続には市販のUSBケーブルをお使いください。

本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

E アナログ音声出力端子 [LINE OUT]

アナログの音声を出力します。

アンプにXLRの音声入力端子がある場合は、市販のバランス型XLRケーブルを使って接続してください。

XLRピン番号

1.COMON

2.HOT(+)

3.COLD(-)

- XLR出力端子は、3番HOT(+に切り替えることもできます。(15ページ)

アンプにRCAの音声入力端子がある場合は、市販のRCAオーディオケーブルを使って接続してください。

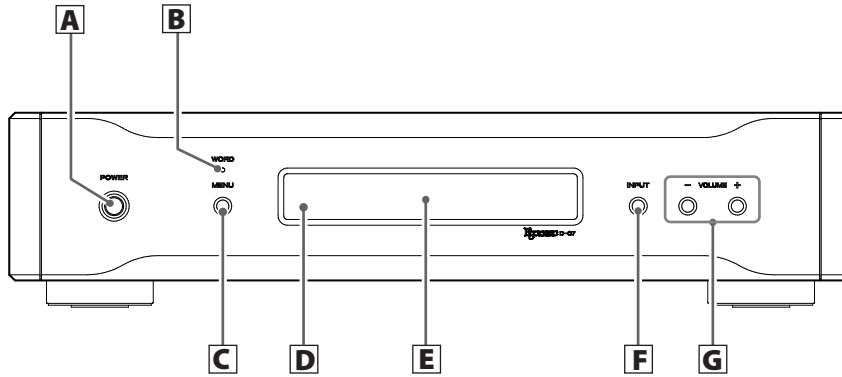
F 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください

各部の名称 (本体)



A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

B ワードインジケータ [WORD]

ワードシンクやマスタークロックの状態を表示します。(12~13ページ)

C メニューボタン [MENU]

設定モードになります。(10ページ)

D リモコン受光部

リモコンから送られる信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。
P-05に付属のリモコンが使用できます。

E ディスプレー

選択されている入力端子名など、各種メッセージが表示されます。

F 入力切替ボタン [INPUT]

デジタル入力を切り換えます。デジタル機器が接続されている端子を選んでください。デジタル信号が入力されていないときは、ディスプレイが点滅します。

- P-05に付属のリモコンの入力切替ボタン(</>)でも操作できます。

G 音量ボタン [VOLUME]

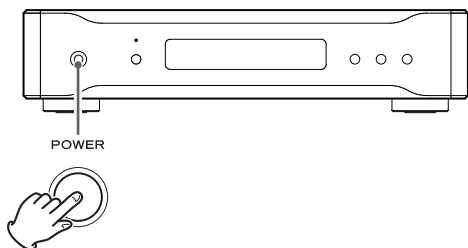
出力レベルを $-\infty$ (MUTE)、 $-99.5\sim 0$ dBの範囲を0.5dB刻みで調節できます。パワーアンプと直接接続して音量を調節したいときに使用します。
プリアンプと接続し、プリアンプで音量を調節する場合は、0.0に設定してください。
設定モードのときは、設定項目の選択に使います。

- P-05に付属のリモコンのVOLUMEボタン(-/+)でも操作できます。

P-05に付属のリモコンで本機を操作するときは、リモコンの設定を「Enable」にしてください。(14ページ)

基本操作

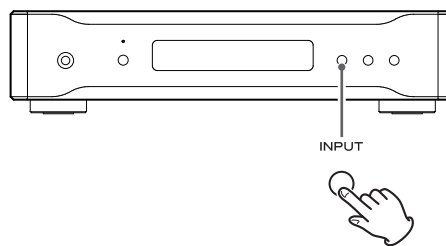
1 電源ボタンを押して電源をオンにする。



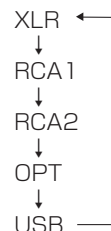
オンのときは、電源ボタンの周囲が点灯します。

- パワーアンプの電源は、必ず一番最後に入れてください。
- 接続してある機器の電源もオンにしてください。
- マスターロック(MCK)をWORD-INIに設定している場合、電源をオンにした直後はワード信号を検知できないため、ディスプレイに「WRD UNLOCK!」や「NO WORD!」が表示されますが、接続した機器の電源を入れて、ワード信号がロックされれば、表示は消えます。

2 入力切替ボタンを押して入力を選ぶ。



ボタンを押すたびに以下のように入力が切り換わり、ディスプレイに表示されます。



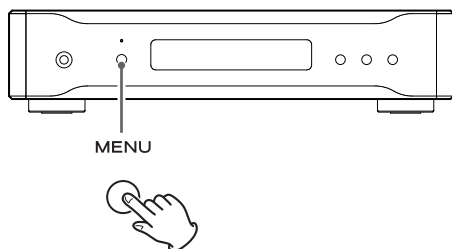
入力を選んだら、ソースを再生してください。

デジタル信号を感知できない場合、ディスプレイの文字が点滅します。接続した機器の電源をオンにし、接続を確認してください。

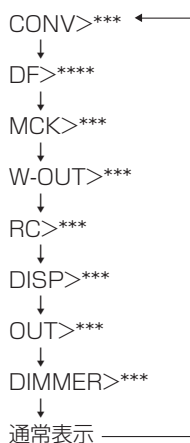
- P-05に付属のリモコンの入力切替ボタン(</>)でも操作できます。
- P-05に付属のリモコンで、音量(VOLUME-/+)/ミュートも操作できます。
- 使用後は電源ボタンを押して電源をオフしてください。

設定モード

- 1 メニューボタンを押して、変更する項目を選ぶ。



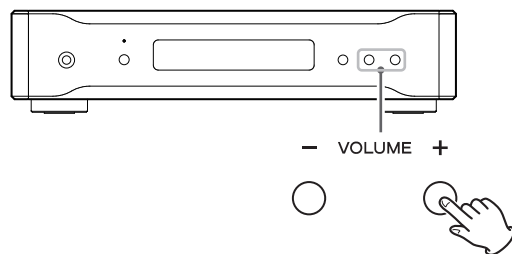
メニューボタンを押す度に、ディスプレイの表示が以下のとおり変わります。



入力切替ボタンを押すか、10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

- P-05に付属のリモコンのSETUPボタンでも操作できます。

- 2 VOLUMEボタンを使って、設定を変更する。



各設定内容については、11~15ページをお読みください。

- P-05に付属のリモコンの入力切替ボタン(</>)でも操作できます。

- 3 通常の表示になるまでメニューボタンをくり返し押して、設定を終了する。



または、10秒以上放置するか、入力切替ボタン (INPUT)を1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

変更できる項目と設定

アップコンバート(CONV>***)

CDなどのPCM信号が入力されているときに、この設定を切り換えることによって、サンプリング周波数をアップコンバートしたり、DSD信号に変換したりできます。

入力ごとに異なる設定ができます。

デジタルフィルター (DF>****)

デジタルフィルターの特性を切り換えます。

入力ごとに異なる設定ができます。

マスタークロック(MCK>***)

ワードシンクまたはマスタークロックのモードを切り換えます。

入力ごとに異なる設定ができます。

ワードシンク出力周波数(W-OUT>****)

ワードシンクを出力モードにしたときに、出力するワードクロックの周波数を選びます。

入力ごとに異なる設定ができます。

リモコン(RC>***)

エンテリックのアンプなどと一緒に使用するとき、エンテリックのリモコンで動作しないように設定できます。

ディスプレイ表示(DISP>****)

通常のディスプレイに、設定されている音量を表示するか、サンプリング周波数を表示するかを切り換えます。

アナログ出力(OUT>****)

アナログ出力の設定、選択を行えます。

ディマー (DIMMER>****)

本体ディスプレイとインジケータの明るさを4段階で調節できます。

アップコンバート (CONV)

CDなどのPCM信号が入力されているときに、この設定を切り換えることによって、サンプリング周波数をアップコンバートしたり、DSD信号に変換したりできます。

出荷時はオフに設定されています。

入力ごとに設定ができます。

OFF

アップコンバート回路を動作させず、ダイレクトにD/Aコンバートします。

2Fs、4Fs

入力されたPCM信号のサンプリング周波数を2倍または4倍にアップコンバートします。

重厚でしっかりした音色が特長です。

DSD

入力されたPCM信号をDSD信号に変換します。

空間表現が豊かな音色が特長です。

- 入力されるPCM信号のサンプリング周波数によってアップコンバートの倍率は次のようになります。

入力が88.2kHzまたは96kHz

CONV>OFF 本機はアップコンバートしません。

CONV>2Fs 本機はアップコンバートしません。

CONV>4Fs 176.4kHzまたは192kHzにアップコンバートします。

CONV>DSD DSDに変換します。

入力が176.4kHzまたは192kHz

CONV>OFF 本機はアップコンバートしません。

CONV>2Fs 本機はアップコンバートしません。

CONV>4Fs 本機はアップコンバートしません。

CONV>DSD DSDに変換します。

設定モード(続き)

デジタルフィルター (DF)

デジタルフィルターを切り換えます。CDやデジタル入力の信号をDSDに変換した場合、スーパーオーディオCDのDSD信号を再生する場合は、この設定は関係ありません。

FIR

32bit/FIRデジタルフィルターにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。濃密で豊かな音の響きを特徴とします。

S_DLY

32bit/ショートディレイフィルタにより、入力信号を8倍オーバーサンプリングします。インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや音の余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

マスタークロック (MCK)

ワードシンクまたはマスタークロックのモードを切り換えます。

入力ごとに設定ができます。

- 「W-OUT」または「W-IN」を選ぶ場合は、あらかじめワードシンク端子を接続しておいてください。

PLL1 (ワードシンクオフ、NORMALモード)

ワードシンクを使用しません。内部のPLL回路が2つある内の、1番目のみを動作させます。ワードインジケータは消灯します。

- PLL回路とは、D/A変換に必要なマスタークロックを生成する回路です。

PLL2 (ワードシンクオフ、Dual PLLモード)

ワードシンクを使用しません。内部のPLL回路を2つとも動作させます。ワードインジケータは緑色に点灯します。

PLLのロック動作中は、ワードインジケータは緑色に点滅します。ロックが完了すると点灯に変わります。

- PLL回路の2番目に用意しているセカンドPLL回路は、内部の水晶発振器を利用した回路です。
- 入力オーディオ信号が32kHzの場合は、PLL2モードが選択されていても、PLL1動作となります。
- 内蔵の水晶発振器でロックできないオーディオ信号を入力した場合、ロックが完了せずにインジケータが点滅のままとなります。この場合はPLL1に設定してください。

OUT (ワードシンク出力モード)

内部の水晶発振器の発振出力を元に、ワードクロックを生成して出力し、本機がマスターになります。

ワードインジケータが青色に点灯します。

- ワードシンクをOUTにした場合は、接続されている機器もワードシンクをオン(またはIN)にしてください。接続されている機器のワードシンクをオフにして使用した場合、ノイズが出る場合があります。
- 出力するワードクロックの周波数は、ワードシンク出力周波数の設定(W_OUT)で選びます。

IN (ワードシンク入力モード)

外部入力クロックをマスターとしてシンク動作します。「IN」を選ぶと、インジケータが青色に点滅して外部クロックをサーチします。クロックを感知してロックすると点灯に変わり、外部同期による再生が可能になります。

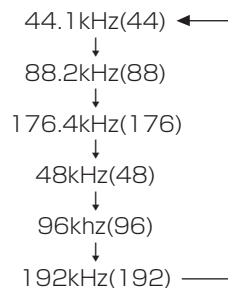
- 本機は192kHzまでのクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。
- 接続する機器の出力精度によっては同期できない場合があります。
- 入力するワードクロックは、入力するデジタルオーディオ信号と同期している必要があります。ワードクロックとデジタルオーディオ信号が同期していない場合には、ノイズが出る場合があります。

ワードシンク周波数 (W-OUT)

エソテリックのP-05など、ワードシンク入力端子のある機器をD-07と同期させて再生するとき 사용합니다。

ワードシンクでOUTを選んだときに出力される周波数(kHz)を選びます。

出荷時は44.1kHzに設定されています。



()内の数字はディスプレイに表示される数字

入力ごとに設定ができます。

設定モード(続き)

リモコン (RC)

エソテリック製品付属のリモコンで、D-07の操作をできるようにするかしないかの設定ができます。
出荷時は「Disable」に設定されています。

Enable

エソテリックのリモコンで操作できるようにします。
P-05に付属のリモコンなどで操作できます。

Disable

エソテリックのリモコンで操作できないようにします。
エソテリックのアンプなどと一緒に使用するときに、リモコンのアンプ操作でD-07が動作してしまうのを防ぎます。

ディスプレイ (DISP)

通常のディスプレイに、表示するものを選びます。
出荷時は「Fs」に設定されています。

VOL

音量ボタン(VOLUME)で設定された数値を表示します。

Fs

サンプリング周波数を表示します。
アップコンバートが働いているときは、サンプリング周波数表示の右側にUが表示されます。

アナログ出力(OUT)

アナログ出力の設定、選択を行えます。

RCA

RCA端子からのみ出力されます。

XLR2

2番HotでXLR端子からのみ出力されます。

XLR3

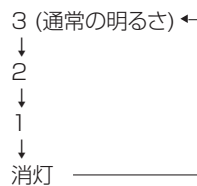
3番HotでXLR端子からのみ出力されます。

BOTH

RCA端子、XLR端子の両方から出されます。
XLRは2番HOTでの出力となります。

ディマー (DIMMER)

本体のディスプレイとボタンインジケータの明るさを、4段階で調節できます。



- 消灯中にボタンを押すと、約3秒間だけディスプレイが点灯します。
- P-05に付属のリモコンのDIMMERボタンでも操作できます。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンの音声を本機に入力することができます。

USB接続できるパソコンのOSはMicrosoft「Windows XP」、「Windows Vista」のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作は保証いたしません。

- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用しても動作できない場合があります。

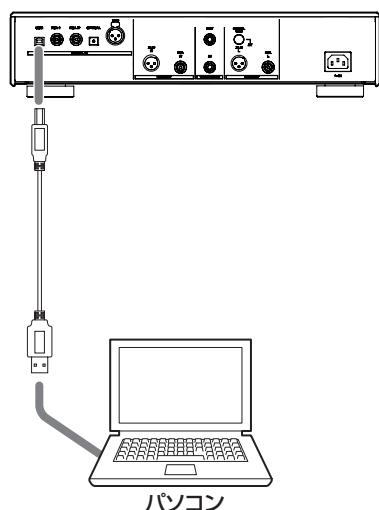
1 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動したことを確認してください。

2 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

- 初めてパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側で本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーがインストールされます。パソコンの指示に従って、ドライバーのインストールを完了してください。
- 本機の電源がオフでも、パソコンは本機とのUSB接続を認識します。



3 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、USBケーブルの抜き差しを行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ずパソコンの音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- パソコンの環境によっては、USB上のデータ伝送速度が確保できず、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。また、音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動した場合も、音が途切れたり、ノイズが発生したりする場合があります。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。
- パソコンとUSB接続されていると、本機の電源がオフであっても、パソコンは本機とのUSB接続を認識し、本機から音を出そうとします。パソコンに直接接続されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、USBケーブルを抜くか、パソコンのサウンド出力デバイスの設定を変更してください。(17ページ)

対応OSを使い、上記の接続を行っても正しく音声が出力できない場合は、以下の点を確認してください。

Windows XP の場合

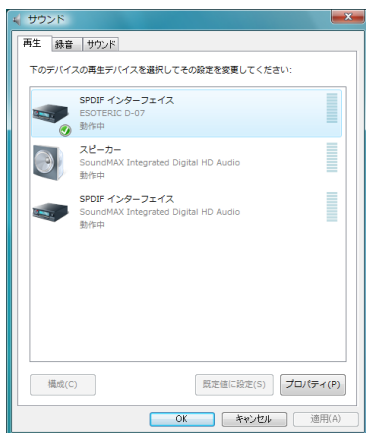
- 「コントロールパネル」 → 「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」 → 「オーディオ」 → 「音の再生」 → 「既定のデバイス」で「ESOTERIC D-07」が選択されていることを確認してください。



- 本機からではなく、パソコンに直接設定されたスピーカーやヘッドホンから音を出したい場合は、「規定のデバイス」を本機以外のデバイスに設定し直してください。

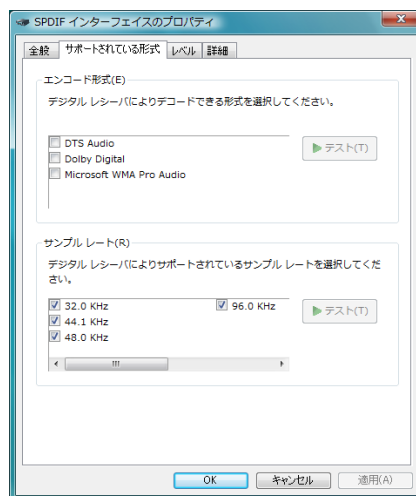
Windows Vista の場合

- 「コントロールパネル」 → 「サウンド」 → 「再生」で「SPDIFインターフェイス ESOTERIC D-07」が選択されていることを確認してください。

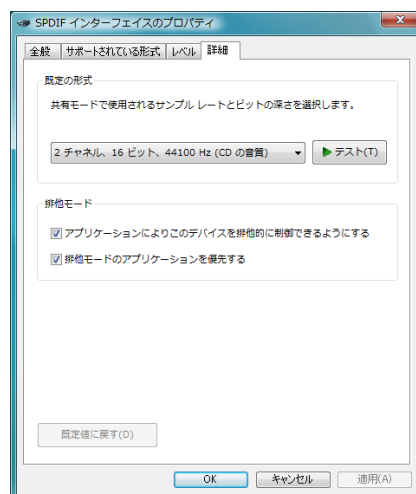


さらに下記の設定をすることをお勧めします。

- 「SPDIFインターフェイス」を選択して「プロパティ」をクリックしてください。「サポートされている形式」のタブをクリックし、「エンコード形式」のチェックを外してください。設定したいサンプルレートにチェックを入れてください。



- 「詳細」のタブをクリックしてください。「2チャンネル、24ビット、****Hz」を選択してください。



- 再生する音楽ファイルの形式に関わらず、USB接続では選択したサンプリング周波数のPCM信号で、送られます。

メッセージ一覧

サンプリング周波数を表示するはずなのに---が表示される。

入力された信号に問題があります。
PCM以外の信号は入力しないでください。
デジタル機器との接続を確認してください。

XLR、RCA、RCA2、OPTが点滅する。

デジタル信号にロックできません。INPUTボタンを押して、デジタル機器が接続されている端子を選んでください。
接続した機器の電源をオンにしてください。接続した機器の設定を確認してください。

NO WORD!

WORDクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
ワードクロックを使用しない時は、マスタークロック(MCK)の設定でPLL1かPLL2を選んでください。(13ページ)

WRD ERROR!

入力されているソースの周波数がワード周波数と同期していません。スーパーオーディオCDの再生時は、ワード周波数は44.1、88.2、または176.4kHzにしてください。またソース機器が正しくワードシンクできているか確認してください。
ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。
ワード・シンク機能のない機器と接続する場合は、マスタークロック(MCK)の設定でPLL1かPLL2を選んでください。(13ページ)

WRD LCKING

入力されているWORDクロックにロック中です。

WRD UNLCK!

入力されているWORDクロックにロックできません。
接続したクロックジェネレーターの周波数設定を確認してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 電源ボタンを押してオンにしてください。

音が出ない。

- ➔ アンプやデジタル機器との接続を確認してください。
- ➔ アナログ出力の設定を確認してください。(15ページ)

入力インジケータが点滅する。

- ➔ 選択されている入力端子に接続されている機器の電源を入れてください。
- ➔ 選択されている入力端子が正しく接続されているか確認してください。

「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る。

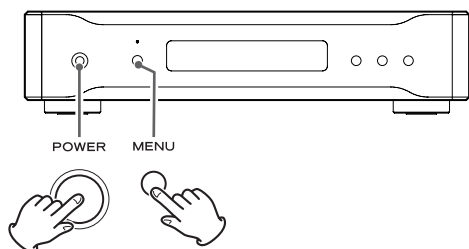
- ➔ D-07がワードシンクモードなのに、接続している機器がワードシンクモードになっていない可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

ワードインジケータの点滅が消えない。

- ➔ ワードクロックを使用しないときは、マスタークロック(MCK)の設定でPLL1かPLL2を選んでください。(13ページ)
- ➔ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

工場出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

2. メニューボタン(MENU)を押しながら電源ボタンを押す。

電源がオンになりディスプレイが点灯するまで、メニューボタン(MENU)から指を離さないでください。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

仕 様

アナログ出力

出力端子	XLR端子×1系統
		RCA端子×1系統
出力インピーダンス		
XLR	100Ω
RCA	100Ω
最大出力レベル	2.2Vrms(1kHz、フルスケール、10kΩ負荷時)
周波数特性	5Hz～40kHz
S/N比	130dB
歪率	0.001% (JEITA)

デジタル入力

バランスデジタル入力	XLR端子×1系統(5.0Vp-p/110Ω)
同軸デジタル	RCA端子×2系統(0.5Vp-p/75Ω)
光デジタル入力	OPTICAL端子×1系統(-24.0～-14.5dBmpeak)
USB入力	USB TypeB端子×1系統 USB1.1 Full Speed
入力サンプリング周波数	
XLR、RCA、OPTICAL	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192kHz
USB	32、44.1、48、88.2、96kHz

※XLR入力のみ、P-05との接続で、DSD入力が可能です。

ワードシンク出力

出力端子	BNC端子×1系統
出力周波数	44.1、88.2、176.4、48、96、192 (kHz/短形波)
出力レベル	TTLレベル相当(75Ω負荷時)

ワードシンク入力

入力端子	BNC端子×1系統
入力周波数	44.1、88.2、176.4、48、96、192、100 (kHz)
入力インピーダンス	75Ω
入力レベル	TTLレベル相当(75Ω負荷時)

一般

電源	100V AC 50-60Hz
消費電力	7W
外形寸法 (W×H×D、突起部を含む)	442mm×103.5mm×346mm
質量	9.5kg
許容動作温度	+5℃～+35℃
許容動作湿度	5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度	-20℃～+55℃

付属品

- 電源コード×1
- 取扱説明書(本書)×1
- ご愛用者カード×1

JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定法によるものです。
仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から一年です。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、ティアック修理センターまたはご購入の販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入の販売店またはティアック修理センター(23ページ)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

18ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入の販売店またはティアック修理センター(23ページ)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：D/Aコンバーター D-07

シリアルナンバー：

お買上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

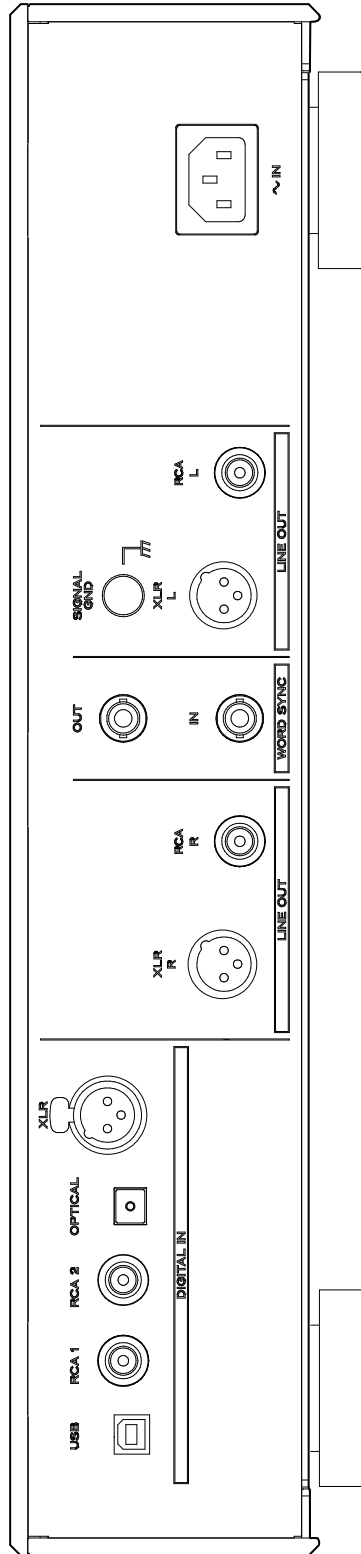
音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



リアパネル



エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

EGOTERIC